

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第5回佐渡市行政改革推進委員会
開催日時	令和6年1月24日(水) 15:30~17:30
場所	佐渡市役所会議室棟 第3会議室
会議内容	1 開会 2 議事 1) 行政評価結果のまとめ 2) その他 3 閉会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	≪行政改革推進委員≫ (5名) ・委員 安土 祐子、今本 啓介、桑原 康彰、西尾 真治、 山口 博司 ≪市役所≫ (3名) ・事務局 総務課長 谷川 直樹 総務課課長補佐 金子 一生 総務課総務行革係 係長 相田 好彦
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	
会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
委員	1 開会 はい、よろしく申し上げます。本日は、こちらは特に雪は降ってないんですけど、ジェットフォイルが動かないということで、明日も帰られるかどうか分からないということで、急遽リモートにさせていただきました。本来なら、伺うべきところ申し訳ございません。 それでは、進行表にしたがって行っていきたいと思います。 これより第5回佐渡市行政改革推進委員会を開催します。

本日は、前回、佐渡市単独補助事業のヒアリング結果について、社会福祉協議会の補助金などの修正がありましたので、次回、市長へ答申する内容を行政評価結果としてまとめたいと考えていますのでよろしくお願いします。

2 議事 1) 行政評価結果のまとめ

委員

それでは、行政評価結果について、社会福祉協議会から順次確認をしております。修正のご意見等がございましたら、ご発言をお願いします。
これは事務局の方よりお願いしたいと思いますが。

金子総務課長補佐

前回、社会福祉部長から再度ご説明をいただきまして、法人の赤字のところ、前回周知したところなんですけど、事業の必要性を再度ご説明をいただいた中で、評価結果自体、見直しと申しますか、修正をしていただいた方がたくさんおりましたので、それを踏まえて作り直したものでございます。前回は抜本的な改善というところで、コメントも抜本的に改善する必要があるというところ、あと、コメントのところも、その運営の赤字の部分について、結構コメントをいただいたところがあるんですけども、そのあたり、新たにいただいた皆様のご意見に修正をさせていただいております。

結果としまして、抜本的な改善2名は引き続きいらっしゃるんですけども、一部改善、現状通りというところで、票が2人ずつで割れておりますので、一部改善というのを委員会としての評価に変更させていただいているということでございます。

コメントの表記、それから全体のコメントについて、今一度、皆様から修正等ありましたらご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員

それでは、委員の皆様いかがでしょうか。
はい、委員。お願いします。

委員

特にはないです。特に問題ないと思います。
ただすごく綺麗に終わってしまったなと気になってはいるんですけど、間をとってみたいな感じで多分一部にさせていただいているのかなと思うので、コメントも目を通させていただいて、妥当というかこれでいいんじゃないかなと私は思っています。以上です。

委員

はい、ありがとうございます。他の委員の方はいかがでしょうか。

委員

はい。

委員

はい、お願いします。

委員	特段意見はなく、このまとめられたコメントで結構です。はい、以上です。
委員	分かりました。 すみません、順次お願いできればと思います。委員いかがですか。
委員	はい、特に問題はないと思います。このままで。踏襲していただいて。
委員	委員いかがですか。
委員	はい、私もこれでよいと思います。評価結果はどれか一つ選ばなければいけないということなので一部改善でよいと思うのですが、取りまとめの原稿を読むとけっこう抜本的な改善に近いのではないかと読めます。 評価結果の取りまとめの原稿のコメントで書かれているような慢性的な赤字体質を変えていくために、市が一体となって改善に取り組んでいく、そこから踏み込んでいった取り組みをしていく。それが触れられていけばよいのではないかと思います。
委員	ありがとうございます。私もこれで特に問題はないと思いますが、基本的には問題ないと思いますが。 昨日、実は私の大学の大学院で社協について研究をしている人がいて、その人の報告をたまたま聞く機会があって、ちょっとお話ししてたんですが、今回やっぱりどうするかっていうことは、おそらく真剣に考えていくっていう機会であろうと思うところですので、一応委員が先ほどおっしゃった通りで、一部改善とは言っているんですが、喫緊に検討する必要があるだろうということ、それを書くかどうかとして、そういうことで理解されればいいのかなという風に思っています。 他いかがですかね。なければ、事務局の方、これでこういう感じですけど、何かありますか。
金子総務課長補佐	はい、ありがとうございます。これでお認めいただければ、この方向でまとめさせていただきたいと思います。
委員	はい、ありがとうございました。それでは続きまして、元気な地域づくり支援ですね。これについて、何か事務局の方で補足事項があればお願いします。
金子総務課長補佐	順番はシルバーなんですけども、地域づくりでも結構ですが、どうしましょう。じゃ、地域づくりを先にやります。 前回、修正ということで、事業そのもの、補助の内容と両方併記して一部改善ということで修正、前回のご意見を踏まえてさせていただいたところです。 まつりの規模に見合った補助金なのか、やっぱりその合併前の旧態依然と言

	<p>いますか、そういったのが踏襲されているような部分はございまして、このようなまとめになっております。</p> <p>全体の5名の方が一部改善ということで評価いただいておりますので、この方向でまとめさせていただいております。全体評価、それから委員の皆様のコメントについて修正がありましたらご意見いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。それでは、何か委員の方でありましたらお願ひします。だれからでもいいですが。</p>
委員	<p>特に私はこれで問題ないと思ひます。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。委員いかがですか。</p>
委員	<p>委員の中の皆様5名が一部改善ですのでこれで結構です。</p>
委員	<p>委員いかがですか。</p>
委員	<p>問題ないと思ひます。</p>
委員	<p>委員何かありますか。</p>
委員	<p>取りまとめ原稿の一番最初のコメントに書かれている、活性化が目標である、地域活動をサポートすることと組み合わせて支援することが必要とか、その点を書いてあればよいと思ひます。</p>
委員	<p>私も特に問題ないと思ひますので、事務局の方は、このままでいいということですので、これで進めていっていただければと思ひます。</p>
金子総務課長補佐	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>それでは続きまして、社会教育課のスポーツ協会補助金についてですが、こちらの方、事務局の方で何かございましてらお願ひします。</p>
金子総務課長補佐	<p>はい、前回皆様からご意見いただいた内容で一部修正しておりますが、おおむね現状通りというご意見をいただいておりますので、現状通りなんです、前回のお話で、一部改善の方に話がいったという判断で今ちょっとこのような形にしてるんですが、ちょっとまた不都合がありましたら皆さんからご意見いただければと思ひます。</p>

委員	はい、ありがとうございます。それでは、委員のご意見を伺いたいと思いますが。委員いかがですか。
委員	ちょっとこれ、見せ方というか、書面上ちょっと議論が必要なのかなとは思いますが、書いてあるコメント通りなので、内容としては別に問題はないと思っています。ただ、実際、現状通りではないコメントが結構多いんじゃないのかなと思うので、これなんか、なんて言ったら。確か前回、現状通りっていうものってないよねって話をみんなでした記憶があって、なんか問題があるからそもそもこの議題になっているんだよねって気持ちもあったと思うので、どうしようかなっていうところなんですけど、その、あれですね、評価のところは4名で現状通りになっているのに、この評価結果でいいのかなってところだけちょっと矛盾は感じるんですけど、内容全体的には私は問題ないなっていう風を感じています。具体的な改善案がなくて申し訳ありませんが以上です。
委員	はい、ありがとうございます。確かに、現状通りが4人で、評価結果が補助内容の一部改善が求められるってというのは、これは前回あったと思いますけど、その、あれですよ。その現状通りっていう場合に、どの程度まで現状通りに行くかっていうのが、たぶん委員によって考え方が違うのかなってところがあると思うので、そこはもうちょっと実は整理しないといけないところなのかなという気はしていますが、本当にそのままっていうことにはたぶんどれもならないんだろうとは思いますが、って感じだと思うんですが。やっぱり入れていただければ。
委員	分かりました。評価結果のところの表現をちょっとだけ変えて、概ね現状通りでよいが、補助内容の一部改善を求めるといふようにすれば、そんなに矛盾がなくなる。
委員	そうですね。ちょっと入れた方がいいかも分からないですね。これ、このままだったら、現状通りでなぜこういうことになってるといふ変な感じになると。 はい、ありがとうございます。委員いかがですか。
委員	はい、基本的に現状通りという意見で書かせていただいたんですけど、その全体のお話の中で、現状維持ってないよねという論点に立ち帰れば、記載内容も含めて今委員のお話があった文言になるなっていう話です。
委員	はい、ありがとうございます。委員いかがですか。
委員	取りまとめコメントの1つ目のところと2つ目のところと両方、利用料の適正化をって感じの内容が入ってるんですけど、これがどっちか1つのとこ

ろでいいような気がするんですけど。例えば上の方に利用料の適正化を図る必要があるっていうのを入れたのであれば、下はボランティアの活用以下のその利用料の適正化というのを外して、人件費負担の見直しというところにすぐいっちゃっていいような書き方がいかと。いかがでしょうか。

委員

そうですね。

利用料の適正化っていうのが、気づきにくいんだったら優先される感じになってもいいのなかっていう気はしますが。それ以外にっていうことになってきますかね。

利用料の適正化のほかにといい形で、その補助金に頼らない運営が求められるっていうことを言ってもいいのかなって気はしますが。

委員

そうですね、ボランティアの活用や人件費負担の見直しなど、補助金に頼らない運営が求められるでいいんじゃないかと。上で利用料の適正化が入っているので。

委員

はい、そうですね。じゃ、そのようにしていただければと思います。

委員いかがですか。

委員

はい、取りまとめコメントの最後にある、市の補助金に頼らない運営に対してなのですが、それは現状維持ではなくて、市に頼らないように改善することなので、評価結果はやはり改善が求められるという言葉があった方がよいと思います。

委員

ありがとうございます。私もそれでいいのかなという気はします。委員の方々が提案されたつもりでよかったなという気はしますが、多分優先順位としては利用料の適正化っていう方が先なのかなっていうのは、ちょっとなんとなくは思ってるんですけど、どうなんですかね。あんまりそこは優先順位をつけなくていいかなっていう議論をしないではないですが。

で、概ね現状通りでとりあえずやってくれていいっていうことではいこうかなと。ただ、改善すべき点はあるということで、喫緊に改善しないといけないということではないという、そういう形が伝わればいいのかなという気がするんですけど。委員はもうちょっと強く改善を求めた方がいいと。

委員

概ね現状通りでよいかと。先ほど委員の話にもあったのですが、一部改善の内容があればよいのではないかと思います。

委員

はい、分かりました。じゃ、それでいいですかね。それでは、事務局におかれましては先ほど修正点を反映させていただければという風に思います。

それでは続きまして、あれ、あれですよ。シルバー人材が。

金子総務課長補佐	<p>すいません、ちょっと。進行表からちょっと落ちておりました。申し訳ありません。</p>
委員	<p>ではシルバー人材の方を見ていただければ。何か事務局の方でありましたらお願いします。</p>
金子総務課長補佐	<p>進行表から漏れておりました。あと、前後して申し訳ありません。 シルバー人材センターについては、担当の方のお話を聞いた中で、やはりその会員数の減少の対策が必要だろうということでお話いただいたんですが、事業そのものは皆さんからも好意的なご意見をいただいたという風に理解しております。先ほどの現状維持、人材確保みたいな部分でまとまりになっておりますけども、現状通り4名ということで、このようなまとめにさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。それでは、委員の方々いかがでしょうか。委員お願いします。</p>
委員	<p>ちょっとまた混乱しかけたんですけど、補助内容は改善しなくていいけど、事業内容を一部改善ってことなんですよね。この表現は。 だから一瞬、先ほどのやつと評価結果の表記を統一した方がいいんじゃないかって一瞬思っちゃったんですけど、補助内容の改善なのか、事業内容の改善なのかの違いが多分あるので。だから、これはこれでいいのかなと思いました。 ただ、前回までこんなに現状通りが多かったってちょっと今思ってるんですけど。あれでもいいのか。そ、そうでしたよね。記憶をよみがえらせながらなんです。特に内容自体は問題ないと思います。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>前回の会議の中で、現状通りなんだけど、かっこ書きの中の事業内容の一部改善を求めるといふ風にしようという流れでお話があったと思いますし、評価委員の結果も4名現状通りということですので。これで、よろしいと思います。以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>特に問題ないと思います。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。委員、いかがですか。</p>

委員	<p>取りまとめコメントの中の表現に対して、になってしまうのですが、高齢者は重要な労働力であるというような、それはそうなんだろうが、一方で、この取組というのはやはり高齢者の生きがいか、そういった観点を触れた方がよいかと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。そこはちょっと私も気になっていた点ですので、初めの取りまとめのところを若干修正していただければと思います。</p> <p>生きがいかですね。重要な労働力っていうだけでなく、高齢者の生きがい作りというのをちょっと入れていただければという風に思います。</p> <p>で、私が一点気になったのは、実はこの抜本的な改善を求めている人が1人いるんですが、これをどういう風に考えるですかね。抜本的な改善を求めている人がいるのにも関わらず、現状通りっていうのも、なんかちょっと変な感じかなっていう気もするんですが。多数決、現状通りであればいいんでしょうけど、いいって考え方もあるんでしょうが、どうなんですかね。事業内容としては、おそらく、今、この間の話にも出てきましたが、定年延長とかがありますので、そういう点からも必要性が若干やっばり昔よりは低くなってる可能性もあると思いますので、なんかその辺の事業内容の改善って言った場合、多分そこを指すと思うんですが、細かいことでいいのかなっていう気はしますが、中長期的には多分見直しせざるを得ないのかなっていうのは私自身も思うんですが。無理に入れなくてもいいかなって気がしますが。</p> <p>事務局の方、いかがですか。あるいは委員の方々でもいいですが。</p>
金子総務課長補佐	<p>はい、会長のおっしゃる通りかと思いますが、一方で多数決で現状通りというところもございまして、なんか無理にこの抜本的な改善を一部に移してもらってということではなく、ありのまま、このまとめでどうかと思っておりますが。皆さんからご意見いただきたいと思います。</p>
委員	<p>はい、抜本的な改善を自分が何にしたかはもう忘れてるんですが、多分どっかのファイルに残ってるはずなんですけど、その抜本的な改善を言ってる人っていうのはコメントはどれなんですかね。</p>
委員	<p>コメントを入れておきたいですけどね。意見として。私、現状通りではなかった気がするんですよ。自分が。でも覚えてない。</p>
委員	<p>いや、僕も今どこかにファイルあるので、出せって言われたら出すんですけど、こういう時は便利だなんて気がしないか。</p>
委員	<p>あれじゃないですか。2つ目の。</p>
谷川総務課長	<p>2ぽつ目ですよ。</p>

委員	<p>利益を出せてって言っているところがたぶん改善のコメントだと思う。独立した事業として補助金なしでというところ。</p>
委員	<p>とうことになると、なんか現状通りっていうことになると、なんか現状通りっていうとまた難しくなるんですけど、これもちょっとこの言葉の使い方が。定年延長とかのことを考えると、もしかしたら中長期的には先ほども言ったように、見直す必要も出てくる可能性があるのです。</p> <p>これがちゃんと利益が出せるっていうのであれば、独立してできないことはないということになるということもあり得ますので、そう考えると、やっぱり現状通りっていうことを言ってしまうといいのかなって気はちょっと気にはなるんですよ。</p> <p>さっきのパターンじゃないけど、概ね現状通りっていうことを、概ねっての気づきはちょっとしたんですが。どうですかね。</p> <p>これだけで言うと、なんか現状通り、本当にいいんだってということに。事業内容とは別問題であることについてはいいんだってことになってしまいかねないので、ちょっとそこは先ほどと同じようにしてもいいのかなって気はしました。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>賛成です。私は。</p>
委員	<p>その他の委員の方。反対とかは。</p>
委員	<p>基本的に今会長がおっしゃった通りでいいんじゃないかなと思うんですけど。前回の議論の中で、その補助金はいいけど事業の内容を一部見直さなきゃだめだから、この文言が入ってきたということで。その評価がばらけているのを包含したときに、下段の推進委員会の各コメントで吸収できていけば、これはこのままでいいのかなという風に個人的には思いました。うん、はい。以上です。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。見直しについては、おそらく初めにコメント方法で入れる必要はないのかなって気はしますが、取りまとめコメントってこの1番上のところではやる気はない。入るかなという気がしますが。概ねって気は効いていいんじゃないかなって気は私にはしています。ちょっとその辺り修正をまたお願いできればと思います。</p> <p>それでは、この議案は以上で次ですね。最後ですが、火葬場に移りたいと思います。事務局の方で何かあれば。</p>
金子総務課長補佐	<p>こちらは、もう要綱の終期、それから廃止、県内もやってないというところ、もう基本的に廃止だという結論になりました。</p>

	<p>ただ一方、どうしてもっていう部分であっても、その金額の見直し、それから所得制限、そういったものを入れる必要があるということで、委員の意見をまとめさせていただいております。ちょうど今、予算査定も行っておるところなので、そういったのも含めて、ちょっと来年すぐできるかどうか分かりませんが、市長にこのように答申するというので、委員の意見をまとめさせていただいております。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。それでは、これについていかがでしょうか。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>はい、前回の議論の通り、反映してもらってると思いますので、問題ないのではないかと思います。</p>
委員	<p>委員、いかがですか。</p>
委員	<p>はい、私も委員と同様でして、前回の議論が反映されていらっしゃるの、これでよろしいかと思います。以上です。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>このままで問題ないと思います。</p>
委員	<p>はい、わかりました。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>はい、私もこれでよいと思います。</p>
委員	<p>私もこれでいいと思います。あれですね、これ今年度で終わるということで、先ほど市長に答申をするっていうことで、もう来年度廃止っていうことにもなり得るっていうことですね。あれ上限付きがなかったら多分もう今年度で終わるはずなので。そういう理解で。</p>
金子総務課長補佐	<p>佐渡市単独補助金については、これに限らず、今年度でいったん終期を全て迎える。で、この後、その予算査定の中で一部条件をつけて継続するケースもございりますが、いずれにしても、終期を迎える補助金については全て要綱改正が必要になります。</p> <p>この補助金についても、こういったご意見をいただきながら続けるのであれば、見直しの当然対象になりますし、ただ、行革委員会としては廃止を答申するという整理になります。最終的にはちょっと市長の判断になります。</p>
委員	<p>今のおっしゃっていることがちょっと一部聞こえなくて、ちょっとすいませ</p>

金子総務課長補佐	<p>ん。</p> <p>全ての補助金、すべてかどうか、ちょっと。市単独補助金については今年度で終期を迎えるものがほとんどでございます。で、今それも含めて予算査定をしているんですが、継続するにしても、一部見直しして継続する事業もあれば現状維持で継続するものもございますし、最終的にはちょっと市長なり理事者の判断になりますけども行革委員としては、この補助金に対しては廃止すべきで、継続するにしても要件を設けるべきということで答申いたしますので、それを踏まえて予算がどうつくかっていうのは市長の判断になります。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。それではこちらの方はこれをお願いできればという風に思います。</p> <p>2 議事2) その他 令和6年度以降の佐渡市財政改革について</p>
谷川総務課長	<p>以上で今回の確認については終わりたいと思いますが、次にその他として、令和6年度以降の佐渡市行財政改革について委員の皆様と意見交換をしたいと思います。ということでまず事務局から説明をいただければと思います。</p> <p>はい、じゃ私、谷川の方から説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料、令和6年度以降の行財政改革についてっていうことで、こちらの方ですが、今本当にまだ総務課の中のプロ案っていう風な形にして、ちょうど今、令和6年度の当初予算の市長査定の方が行われております。我々総務課につきましても、明日ですね、市長査定っていう風な形になってございますので、その中でですね、理事者の方と議論をしながらまとめていきたいと思っております。それなので、今のところあくまでも素案っていう風な形でご覧いただきたいと思っております。</p> <p>大きく分けて、組織としてということと、業務としてというような形で分けさせていただきました。</p> <p>令和6年度、総務課の中にですね、行政改革係っていう風なものを設置させていただきます。また、その行政改革を進めていくにあたりまして、行政の人間だけではっていう風なところもございます。これまでは市役所内部の人事だけで行政改革の方を進めてきたんですけども、今回につきましては、外部人材の活用といたしまして、行革の知識を有する方を今選定しているような状況であります。ただ、これが確実に予算が認められるかっていう風なところにつきましては、明日以降の決定っていう風な形になります。</p> <p>あと業務といたしましては、まず業務の仕分けっていう風な形で、これまでやってきてはいるんですけども、行政でやるべき業務、あとは民間の活力を活用したアウトソーシングっていう風な形に、まずは業務をしっかりと見直し</p>

しなければいけないんじゃないかという風なところですよ。

また、行政がやる業務の中でも、正規職員がやるべきものなのか。今、会計年度職員という形で臨時さんの方がいらっしゃる。その方が行うようなルーティン業務、定期的な業務なのかっていう風なところの仕分けをしっかりと行っていかなければいけないかっていう風にして考えております。

これによりまして、雇用の促進が図られるっていう風なところと、あと業務改善、業務の効率化、あとは適正な職員数っていう風なところで、あまり表には出したいくはないんですけども、やはり職員削減っていう風なものをしていかなければいけないっていうとこなんでけども、あまりマイナスイメージを出したくないっていう風なところで、適正な職員数っていう風な形で書かせていただいております。ひいては、この取り組みの方が成功すればですね、財政改革っていう風なところで、行政コストの適正化、削減っていう風なところに結びついていくっていう風にして考えております。

あと、行政サービスの提供見直しっていう風な形ですね、今、やはり行政のDX化っていうところで、今、総務側の中にデジタル政策室っていう風なものが設けられております。今、市民向け、行政内部のデジタル化っていうようなところを進めている中です。やはりデジタル化による市役所の窓口の利用者の削減が図られないか。それはやはり電子申請、あとは自宅にいながら手続きができる、証明書類の交付が受けられるっていう風なところを今、取り組みの方を進めているような状況でございます。それによりまして、市民サービスの向上、あとは窓口職員の削減が行われるという風なところで、最終的にこれも財政改革につながる、行政コストの低減という風なところに結びつけていきたいと考えております。また、組織的なやり方ではなくてですね。

今、市役所改革プロジェクトチームっていう風なものを既に立ち上げてございます。こちらの若手の課長級、あとは本当にこう、主事主任級の若手職員の中から選抜したような形のチームの方を設定しています。このチームがこの後何を行っていくかっていう風なところなんですけども、やはりその組織風土を変えていかなければいけないじゃないかって風なことと、そこの仕掛け方を行うと。あとは、この後どうしても行財政改革を進めていく中で、市役所だけでとどまらず、どうしても市民の方々にも痛みをどうしても分かち合っていたかなければいけないっていう風な時代がくるかと思っております。それに向けて、市民との信頼関係と痛みを分かちあえる市役所の変革。あとは大きな行財政改革、市役所変革を支えていくような若手職員の人材育成、モチベーションの向上っていう風なところをこのプロジェクトチームの方で行っていききたいっていう風なところで、この後、このプロジェクトチーム、民間に学ぶっていう風なところを目標といたしまして、先進地との意見交換とかディスカッションの方向いながら、少しずつ地道にという風な形になっていくのかと思うんですけども、市役所内部の組織風土を変えていききたいっていう風なところを考えております。

やはり、この後、行財政改革を行っていくにあたって、これまで何をやるべ

きかっていう風なところについては、毎回毎回、行革方針とかアクションプランっていう風なところは打ち出しているんですけども、実際それをこう実行できる人材とか実行していく組織の風土っていう風なところがなかったっていう風なところを私ども反省いたしまして、新たに設置するそのセクションで行うっていう風なところ、プラスですね。このプロジェクトチームの中で、しっかりとこう議論する仕組みを作っていく中で、またそのプロジェクトチームに参画している職員がご自分の職場の方に帰りまして、地道に周りに浸透させていくっていう風なところを狙いで行っております。この両輪です。本当にこう、佐渡市役所を変えていかなければいけないっていう風なところを、切にこう考えながら、進めていきたいっていう風にして考えております。

で、ここに、その行革推進委員会がどのように関わっていくかっていう風なところにつきましては、この後ですね、市長の方と議論の方をしながら、進めていきたいっていう風なところを考えております。で、これまでですね、その諮問事項につきましてですね、やはり、補助金の見直しとか、財政改革とか、財政計画の見直しっていう風なところを行っていただいていたんですけども、そのあたりですね。今後も継続していった方がいいものか、全く別の関わりの方がいいんじゃないかっていう風なところですね。そこは忌憚なく、そのごつくばらんにご意見をいただけるとありがたいなっていう風にして考えております。以上になります。

委員

はい、ありがとうございます。それでは、意見交換ということなんですが、どういう風にしましょうかね。

特に何か事務局の方で意見交換をしていただきたいという点はあるですか。

谷川総務課長

はい。ちょっと先、若干触れさせていただいたんですけども、その諮問事項っていう風なところをしっかりと定めた上でこの委員会を進めていくのがいいのかですね、我々の方が行っていく行政改革についてですね、随時こう共有しながら、それに対するご意見をいただくっていう風な形がいいのか、ちょっとそこのところですね、我々の方も正直迷っているところがございます。

諮問事項に基づいてこう進めていくのか、意見交換っていうとあれなんですけども、そういった随時、情報の共有の上で意見交換を進めていくのがいいのかっていう、そのあたり、ちょっとご意見いただきたいなと思っております。

委員

はい、分かりました。それでは、いかがですか。

委員

はい、よろしいでしょうか。

委員

はい、では委員お願いします。

委員

はい、ありがとうございます。今の、質問事項を育ててるのがいいのか、そ

うじゃない方がいいのかっていうので言うと、どっちが正解なのか正直わからないんですけど。2年間やってみて感じたことっていうのを、なんだろう、私の勝手な思い込みだったんですけど、そのやってみる前に関しては、もっとこう、こちらから、これについて教えてくださいみたいな感じで情報開示を求めたりとか、もっと結構いろんな議題についてお話しできる場なのかなって勝手に思ってたんですね。この行革委員会自体をなんですけど。結構しっかり諮問事項って決まってるで、で、この中から選んでくださいはありますけど、大まかな意味ではもう決まってるっていうところからのスタートだと思って、そうなんだと思って。でも、そうしたいと有意義な議論は実際できなかったのかなと思うんで。これも別に悪かったっていう感想ではないんですけど、最初は本当でつきり、もっといろんな、多分まだまだ、これだけじゃなくて、まだまだ議論すべきことってきっと隠れてるんだらうなって思うので。何らかの、そういった場合、1回はあってもいいのかなっていうのはちょっと思いました。すいません。なんかまとまりないですけど、以上です。

委員

はい、ありがとうございます。ということは、こちらからもうちょっと色々議論することがあってもよかったんじゃないかと。そういうことでいいですかね。

委員

あったら、もうちょっと面白い、面白いというか、広がるのかなって。今回は今回あってよかったけど、それも1番最初にもうちょっと広い方から、だったら何について話すか得られるような場があってもよかったのかなと思いました。

委員

わかりました。今の委員のご意見について何かある方いらっしゃいますか。あるいは別の問題提起でも構いませんが。

委員

はい。

委員

はい、委員。

委員

私は半年しかまだご一緒させていただいてないので、その限定的な質問についての議論ということで受け取っていました。

で、感想的なところに同じくなくなってしまうかもしれないんですけど、本来であれば、行政改革推進委員会ということなので、幅広でご議論ができた方が有意義なんではないかなと思う反面、じゃあ、この集まって議論する回数とか中身とか深掘りできる時間軸っていうのが取れるかどうかっていうのもあると思います。

で、皆さんお忙しい中での集まりなので、もしそういう時間が取れるよ、やろうよということで、方向性が一致するのであれば、幅広でやった方がいい

のかなという風に思いますし、いやいや、そうではなくて、ある程度絞ったことを議論した方がいいよということになるのであれば、現状できるかなという風に思います。なので、どっちつかずの意見ではありますけれども、その判断をみんなで議論すべきか。以上です。

委員

ありがとうございます。他委員の方どうですか。
委員、どうですか。

委員

私はこの推進委員会の代表みたいな感じで指定管理者で評価をするところに行っているんですけど、やはりこちらと同じような感じの内容というか、進め方なんで、今委員がおっしゃってるように、こう時間とかあれば、もっとこう、委員の方からこう、市の方に、質問なりなんなりっていうのは、そういう時間が割けると本当はありがたいのは同じように感じました。以上です。

委員

ありがとうございます。委員、いかがですか。

委員

諮問と答申のやり方にもよるかと思います。すごく抽象的な諮問をして、具体的にどういうテーマで議論するのはあまり諮問の中で明確にしないで進めていくというやり方もあるかと思います。

逆に、諮問の中でテーマを絞って進めていくやり方もあるかと思います。それはやり方次第ですが、ある程度、このテーマについて話してもらいたいということは行政側から示してもらった方がよいと思います。

もう一つ、諮問という形をとることのよい点は、諮問の答申に対しては、行政として責任をもって取り組むという、責任が行政側に発生するので、ある程度諮問の形をとるのも大事なのかなと思います。

仮に諮問の形を取らないにしても、この委員会から指摘をされたことを、行政として、きちんとやっていくということ、PDCA サイクルとしてチェックしていくというような、そういう仕組みを入れていけたらよいと思います。

委員

ありがとうございます。なんていうか、これは行政改革委員会自体の目的にも関わると思うんですが、我々は一応質問するというのが、有識者というのを自分で言うのはちょっとおこがましいところはあるんですが、有識者から意見を述べるっていうのが仕事だと思いますので、そういう意味では、委員がおっしゃるように諮問っていうのは欲しいかな。ただ、その諮問の仕方として、例えば今回の場合であれば、その業務改善とか効率化に必要なことについて検討してくれとかですね、そういう形で結構広く言うのであれば問題ないのかなという気がします。ただ、その時に、まず現状どういう問題があるかっていうことをちゃんと明らかにした上で、それに対する方針を決めていかないといけないので。そういう意味では、もしかしたら時間を要する可能性があるというの

谷川総務課長	<p>は否定できないのかなという風に思います。そういう感じですので、一応、これからの方針として、もうちょっと幅広くするっていうことには賛成だということなんです。</p> <p>で、こういう感じで委員の方からは意見が出ましたが、事務局の方、何かありますか。</p> <p>はい、谷川です。今、皆様のご意見聞きまして、やはり諮問の仕方っていう風なところをしっかりとしなければいけないなっていう風に、幅広な諮問の仕方です。で、やはりちょっと今年度、我々の方で、事務局の方ですね、出遅れたっていうところは本当にこう謝らなければいけないなっていう風なところもございまして、本当にこう、4月早々に、1度、諮問、幅広の諮問の方を行う中で、一旦、今年度どういった意見交換をしていくか、諮問内容にしていくかっていう風なところを、一旦、委員会の中で、我々の方からも提案の方はさせていただきたいと思っておりますし、委員さんの中から、この部分っていう風なところのご意見をいただきながらですね、その1年間の取り組み事項とかっていう風なところをまとめたいなっていう風にして、私、感じます。</p>
委員	<p>はい、わかりました。あれですね、多分 人事異動なんかもあったり、あと去年1年間やってますけど、結構去年の今頃は、大雪の被害で大変だったっていうことがありましたので、そういうことで多分今回出遅れてしまったというところはあるんだと思いますので、来年度その辺り改善をしていただければという風に思います。何かあればお願いします。</p>
金子総務課長補佐	<p>はい。事務局の金子です。ご意見ありがとうございます。</p> <p>先ほど課長も申し上げた通りなんですけど、市の単独補助事業ということで、ある意味ちょっと一方的にこちらが内容をちょっと指定してしまっているという部分もございまして。先ほど課長からもありました、4月にですね、委員の皆さんでこういったことを議論したいということをおっしゃっていただいた上で、諮問の内容を固めてスタートするというような形で来年以降進めたいと思っておりますので、ご意見ありがとうございます。</p>
委員	<p>はい。それでは、そのような形で進めていただければと思います。最後ですかね。</p>
金子総務課長補佐	<p>委員。</p>
委員	<p>今写していただいている資料についていいですか。</p>
委員	<p>はい、もちろん。</p>

委員	<p>ちょっと聞きそびれたかもしれないのですが、今写していただいでる中で、業務仕分けと行政サービスの提供というところで、最終的に矢印で両方とも赤字でアンダーラインで行政コストというところに結び付いてるのですけれども、行政コストというのはどういう意味ですか。</p>
谷川総務課長	<p>はい、すいません。事務局谷川です。</p> <p>あまり深い意味がないっていうと、もうほんとに失礼になってしまうんですけども、やはり行革を進めていく中で、財政の方の視点もしっかりと捉えていかなければいけないという風なところの、その両面の意味で、やはり最終的に業務改善とか、あと組織の見直しを行うことによって、必ずこう、例えば施設の数を少なくした結果ですね、そこにかかる維持管理費と、あとは建物がある以上職員の配置っていう風なところもございますので、そのあたりが削減されるっていう風な効果も含めて、行政コストっていう風な言葉の表現にさしていただいているような形になります。もうちょっとこう具体的に、書けば良かったのかもしれないんですけども、ちょっと抽象的な言葉で今回まとめさせていただいております。以上です。</p>
委員	<p>わかりました。最終的にどれだけコストを削減することにつながったかということに帰結されていくという風にちょっと見えたのですが、それは一昔前の行革というか、とにかく量的に減らそう、削減しようということが強く求められた時代があったのですが、もちろんそれも大事ですが、コスト削減だけではなく、サービスの質の向上とか、そのコスト削減をどうやっていくとか。アウトソーシングと書いてありますが、民間に委託することによって、民間と協働したり、市民と協働したり、そんなことはないのか。そういったことを総合的に判断して、サービスの質的な向上を目指していくという風なところを目標にしていた方がよいかと思えます。</p> <p>コスト削減を全てにするのではなくて、サービスの質の向上というところが、行革の進んでいくべきところなのかなと思います。</p>
谷川総務課長	<p>はい、すいません。ありがとうございます。ちょっとこれ、矢印の引き方もですね、今ちょっと私、反省なんですけども、どちらかというところとイコールっていう意味の方が良かったのかもしれないです。はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>あともう1点、この下の方で、ちょっと気になった表現が、「市民と痛みを分かち合える」なのですが、気持ちはわかります。どちらかというところ、その市民の信頼関係のためとか、先ほど少しありましたが、今、行政サービスを進めていく上で、市役所だけでは担いきれなくて、市民と協働しながら行政を動かしていかなければならない。</p> <p>そういう市民とともに行革を動かしていく、行革の中で市民目線というか、</p>

谷川総務課長	<p>そういう観点をより重視した方がよいのではないかと期待しました。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。また、プロジェクトチームの方には、今のご意見の方も含めてですね。はい、お話をさせていただきます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>ありがとうございました。他、いかがですかね。何かありましたらお願いします。</p> <p>私からなんですけど、その行政改革っていう時に、おそらく現状の年代がまずというのがあって、現状の佐渡市の力で問題点があって、で、それに対してどういう風に改善を図っていくか、改革を図っていくかっていうことに話としてはなっていくんだと思うんですよね。で、その時に、まず、その現状がどうだっていうことを、こう、その指針として、まず考えていくことを、これは、実際に指紋、その時の段階ですけど、その時に、一応、ヒアリング等をさせていただければというのが1つあります。で、あと、この行政改革という場合に、じゃあ、どういう方向でするのかっていうことを、多分、色々考えていかないといけない話なんですよね。で、先ほどもあったようにお金の問題もあるので、そちらと相談をして決めていくっていうことになってくるんじゃないかなと思います。</p> <p>だから、これから、なんでもなんでも増やせばいいっていう、そういうことにはなっていないと思うんですよね。市役所職員を増やせばいいっていうことにはならないとは思いますが、その辺、なんていうか、方向性みたいなものは、それは多分行革委員会でのテーマにはなってくるんじゃないかなと思うんですけど、むしろ行政改革委員会っていうのは行政改革はするっていう前提で多分あるところなので、そういう方向性も含めて、今回ももうちょっと示されていますが、その辺りを諮問の時に聞かせていただければという風に思っているところ。以上です。</p>
谷川総務課長	<p>はい、ありがとうございます。また、そのあたりも含めてですね、理事者の方とまた協議の方、させていただきます。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。他、いかがですか。</p>
委員	<p>はい、大丈夫です。</p>
委員	<p>はい。じゃあ、特になければこれで意見交換の方は終わりたいと思います。本日予定している議事については以上ですが、事務局から何かございますでしょうか。</p>
金子総務課長補佐	<p>はい、金子です。もう1度開催を予定していたところなんですけど、今日、市</p>

の補助金の行政報告っていう部分につきましては一旦まとまったというところ
でございまして。次回、会長がちょっとご来庁いただいて、市長に答申書を渡
していただくというふうに考えております。

ついては、ちょっと今年度これで行革委員会を終わりの予定にしているんで
すけども、何かそれでも議論したいこととかまたありましたら、皆さんからご
意見いただきたいなと思います。

3 閉会

それでは、ということですので、今年度中に市長に答申を渡すということで、
私も行革委員として渡したいという風に思います。

それでは、これで全て終了したいと思います。以上で第5回佐渡市行政改革
推進委員会を終了します。

で、次回というのはもう来年度ということになるかと思いますが、また引き
続き皆さんにおかれましてはよろしく申し上げます。

委員